

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成28年～平成32年度(5年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	(いまばりまつやま) 今治松山計画区 (愛媛県)	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署
事業の概要・目的	<p>当事業区は、今治松山森林計画区は、南部は重信川源流部、北部は瀬戸内海の越智、忽那両諸島までの愛媛県北部に位置し、区域面積140千haのうち森林はその55%の77千ha、人工林率は50%となっている。年平均気温は約16℃、平均年間降水量は1,400mm程度(松山市)と比較的温暖で雨量の少ない瀬戸内式気候に属している。</p> <p>国有林野は、森林面積の約3%にあたる3千haで、主に高縄山地と皿ヶ峰連峰の2団地にまとまって分布している。人工林率は64%と高く、ヒノキが46%を占めている。</p> <p>人工林の齢級配置は、間伐等施業の対象齢級である6～12齢級の森林が約8割を占めており、地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策や森林資源の循環利用の推進等の観点から、適切な間伐を行いつつ、齢級の平準化に向けた取り組みが必要な資源状況となっている。</p> <p>また、国有林の大部分を保安林に指定するとともに、自然豊かで景観に優れた大谷池周辺は、レクリエーションの森「大谷池風景林」に指定するなど、国土保全、水源の涵養、自然環境の維持及び形成、国民の保健及び休養の場の提供等、公益的機能の発揮に努めている。</p> <p>このような本計画区の状況を踏まえるとともに、森林に対する国民の要請が、国土の保全や水源の涵養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林(もり)づくり等の面で期待が高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつ多様化していること、特に地球温暖化の防止、生物多様性の保全については国有林への期待が大きいことを踏まえ、本事業においては、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備の推進や、このための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用促進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容 更新面積 31ha ・ 保育面積 300ha 開設延長 2.00km ・ 改良延長 1.70km 総事業費 292,613千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B) 1,682,619千円		
	総費用(C) 318,966千円		
	分析結果(B/C) 5.28		
森林管理局事業評価技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認められる。</li> </ul>		
	新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。		

様式1

便 益 集 計 表  
(森林整備事業) 合計

事業名：森林環境保全整備事業  
施行箇所：今治松山計画区

都道府県名：愛媛  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	382,431	
	流域貯水便益	123,762	
	水質浄化便益	268,734	
山地保全便益	土砂流出防止便益	536,093	
環境保全便益	炭素固定便益	108,536	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	44,591	
	木材利用増進便益	144	
	木材生産確保・増進便益	40,541	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	4,699	
	森林整備促進便益	173,088	
総 便 益 (B)		1,682,619	
総 費 用 (C)		318,966	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{1,682,619}{318,966}$		= 5.28

# 今治松山森林計画区的位置図

